



MedicalClaude 説明書

Claude によるクリニック業務支援アプリ — 画面の見方と各機能の使い方

全 10 プログラム（電子カルテ業務） + マーケティング 1 + AI オペレータ（チャット）対応
2026年9月版

MedicalClaude とは

ブラウザから使うクリニック業務支援アプリです。定型業務は「タイル」から、柔軟な依頼は「AI オペレータ」から実行できます。



タイルで実行

電子カルテ業務タブの 10 プログラム＋マーケティング 1 プログラム。フォームに入力して「実行」を押すだけで、Claude が電子カルテ操作やレポート生成まで自動で行います。



AI オペレータ

右下の💬から開くチャット。「明日の診療準備して」のような自然な言葉で業務フローを呼び出せます。不足情報はフォームで確認します。



履歴と成果物

実行結果は HTML / PDF / Excel / Word でダウンロード可能。実行履歴は 3 ヶ月保存され、いつでも再表示できます。

業務カテゴリ: ★ お気に入り / 🏠 電子カルテ業務（本書のメイン） / 📣 マーケティング（予約空き枠の X 投稿） / 🏪 受付業務・📦 備品管理・📁 事務業務・🇮🇹 経営分析（準備中・一部実装予定タイルあり） / 🤖 AI関係

AI アプリ化のメリット

定型業務を自動化

診療準備・カルテ入力・検査取込・レポート作成を AI が代行。診療前後のバックオフィス時間を大幅に削減します。

属人化の解消

手順書ではなく「アプリ」として業務を標準化。誰が実行しても同じ品質の成果物が得られ、引き継ぎも容易です。

ミスの早期発見

保険点数の排他関係違反・算定漏れ・処方差分を機械的にチェック。レセプト査定リスクを下げます。

自然言語で操作

「明日の診療準備して」と話しかけるだけで実行。専用研修や複雑なマニュアルは不要です。

育てられるアプリ

要望を伝えるだけで機能を追加。登録機能に無い依頼もチャット内のリアルタイムコーディングで即対応します。

低コスト・短納期

従来の受託開発に比べ、構築も改修も対話ベースで完結。費用・期間の比較は巻末の想定をご覧ください。

ログイン

アクセス

ブラウザで `http://localhost:8001` を開きます。未ログインの場合は自動的にログイン画面に移動します。

ログイン方法

ユーザーID とパスワードを入力して「ログイン」。アカウントは管理者が発行します。

ログアウト

画面右上の「ログアウト」ボタンからいつでもログアウトできます。

セッション

一定時間で自動的に期限切れになります。期限切れ後は再ログインしてください。



The image shows a login form for MedicalClaude, a clinic support system. The form is centered on a light green background. At the top, there is a logo consisting of a stethoscope and the text "MedicalClaude" and "きむら内科小児科クリニック". Below the logo, there are two input fields: "ユーザーID" (User ID) and "パスワード" (Password). A green "ログイン" (Login) button is positioned below the password field. At the bottom of the form, there is a small text label: "Claudeによるクリニック業務支援" (Clinic business support by Claude).

ホーム画面の見方（電子カルテ業務タブ）

MedicalClaude きむら内科小児科クリニック

デジタル ダッシュボード システム管理者（システム管理者） ログアウト

★ お気に入り 電子カルテ業務 受付業務 マーケティング 備品管理 事務業務 経営分析 AI関係

← ホーム 電子カルテ業務

診療準備レポート ★

DigiKar から翌日の予約を取得して HTML/PDF レポートを生成

指定日の予約を DigiKar から取得し、担当医別・診療科別の患者数、準備が必要な患者、ワクチン接種者、内科患者の血液検査履歴をまとめたHTMLレポートを生成します。Slack 設定があれば PDF も自動送信します。

診療SOAP → カルテ入力 ★

音声/転写から SOAP を生成し、DigiKar カルテに自動入力

診療音声（または既に話者分離済みのテキスト）を取り込み、SOAP形式に整形し、DigiKar の本日カルテに自動入力・保存します。保険点数はクリニックの標準セットが自動展開されます。処方箋は前回 Do 履歴がある場合のみ提案し、自動入力はありません。

検査結果インポート ☆

CSV/PDF/画像 → MI_CAN 変換 → DigiKar 登録 → 患者向け A4 PDF

検査結果データを各ツールへ**インポート**する専用プログラムです。①DigiKar: 検査ファイル (CSV / Excel / PDF / 画像 / SRL結果TXT) を読み取り、「検査結果取込」機能で患者カルテに登録。②RSbase: RS772372 形式のファイルを取込フォルダへそのままコピー。患者交付用の A4 説明 PDF も生成します。フォーマット間の変換 (CAR/MSS/RS772372 など) はここでは行いません。『検査データ フォーマット変換』で変換してから取り込んでください。

カルテ点数・処方レビュー ☆

DigiKar カルテを読み取り、保険点数の誤算定/処方差をレポート

指定患者の最新カルテ（または指定日付の全受診患者）を DigiKar から読み取り、保険点数の排他関係違反・算定漏れ・病名不整合・回数制限超過を抽出し、前回処方との差分（追加・中止・用量変更）も併せてレポート化します。**読取り専用**でカルテを書き換えません。

栄養指導レポート ☆

DigiKar カルテ + 検査値推移から食事・運動指導の A4 レポートを生成

指定患者の最新カルテと最大 3 回分の過去カルテ、最大 3 回分の検査値推移を DigiKar から読み取り、病態に応じた食事改善・運動・生活習慣の具体的な提案を A4 2 ページ (グラフ入り) の HTML/PDF レポートで生成します。**読取り専用**でカルテを書き換えません。

生活習慣改善 PPT ☆

DigiKar カルテ + 検査値 + AI 画像で .pptx の生活指導資料を生成

指定患者の身長・体重・年齢・性別と、最新カルテ + 過去最大 3 回 (既定 1 回)、検査値最大 3 回 (既定 1 回) を DigiKar から読み取り、食事・運動・睡眠・嗜好品の改善プランを構造化。OpenAI の画像生成 API で各スライドに合った医療教育向けイラストを自動生成し、ダウンロード可能な PowerPoint (.pptx) と HTML プレビューを出力します。**読取り専用**でカルテを書き換えません。

検査データ フォーマット変換 ☆

SRL結果ファイルを CAR / MSS / RSbase 形式へ相互変換

MSS 栄養解析レポート作成 ☆

MSSのPDFから患者向け栄養アドバイス/サブリ提案のWordを生成

MSS 栄養解析 依頼・状況管理 ☆

MSSサイトの解析状況・履歴の取得と、血液データの解析依頼

チャットボタン

① カテゴリタブ

画面上部で業務カテゴリを切り替え。左端の ★ は自分のお気に入り（タイトル右上の ☆ で登録）。

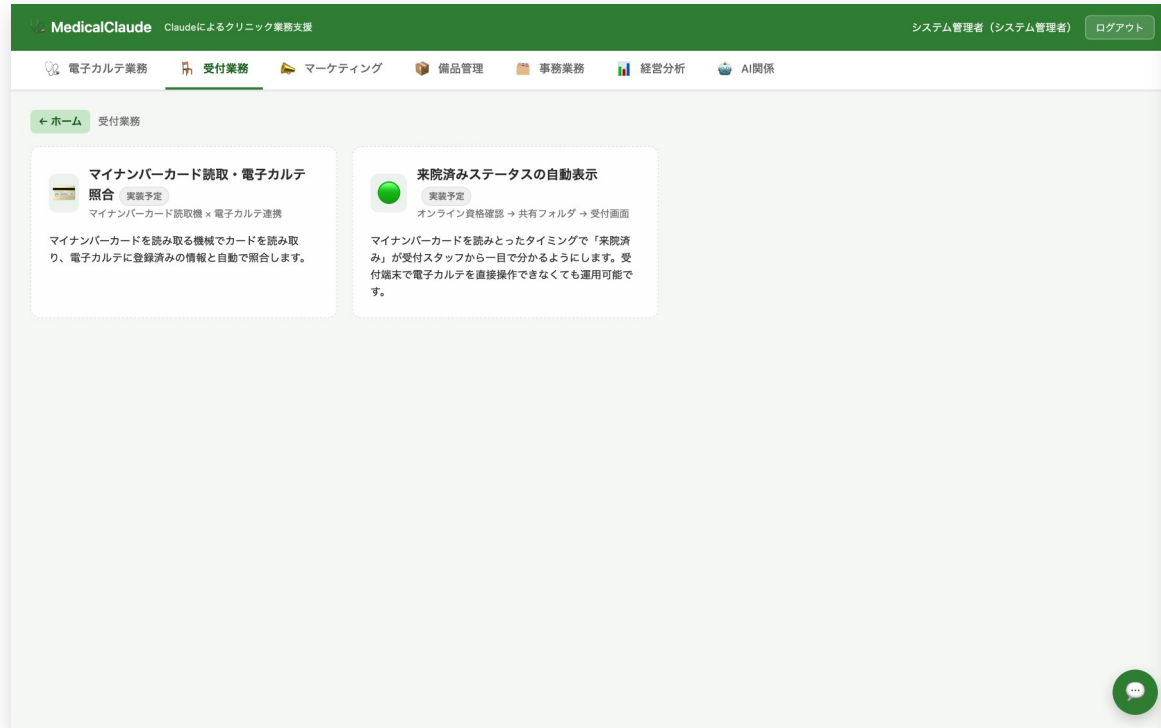
② タイル

各プログラムのカード。クリックすると実行フォームが開きます。

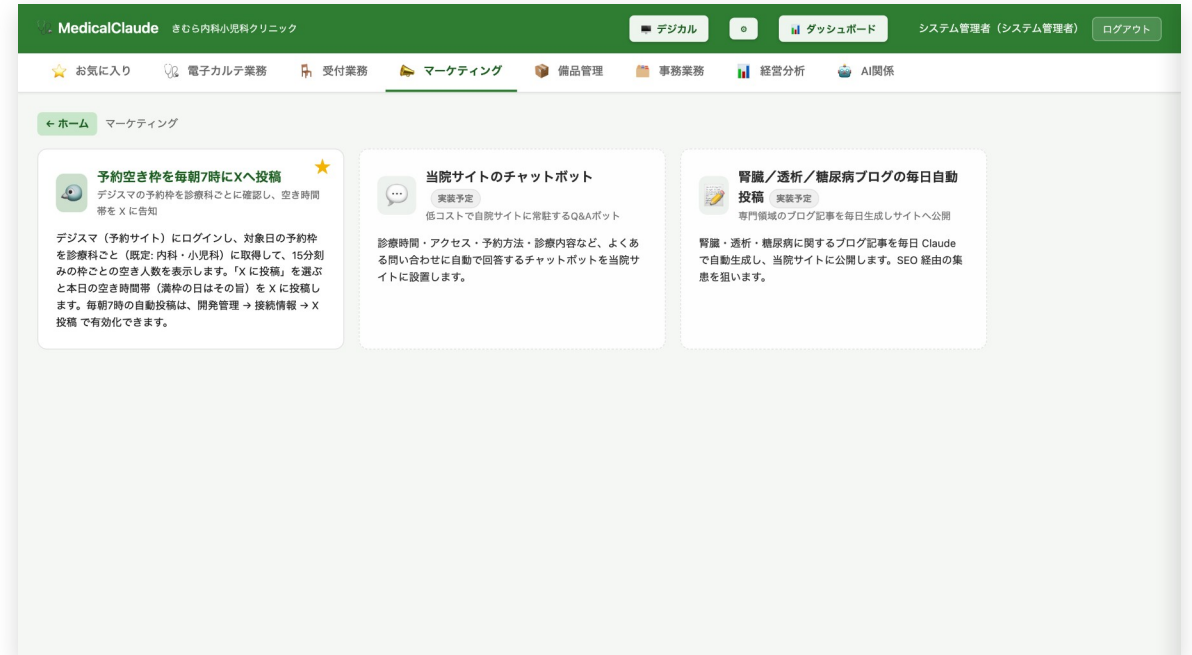
③ AI オペレータ

右下の … ボタンでチャットを開きます。

業務カテゴリタブ



受付業務 — マイナンバーカード連携など実装予定タイル



マーケティング — 「予約空き枠を毎朝7時にXへ投稿」が利用可能（他は実装予定）

「実装予定」ピルの付いたタイルはクリックすると要件・連携イメージが表示されます。備品管理（在庫管理システム）・事務業務・経営分析（自動分析／月計表ダッシュボード）の各タブにも実装予定タイルがあります。

★ お気に入り

機能

よく使うプログラムを自分専用の ★ タブにまとめられます。
お気に入りはログインユーザーごとにサーバーへ保存され、
どのパソコンからログインしても同じ並びになります。

登録方法

各タイル右上の ☆ をクリックすると ★ になり登録されます。
もう一度押すと解除。

表示

★ タブはカテゴリタブの左端に常に表示され、登録したプログラムだけが並びます。

ポイント

職種ごとに使う機能が違う場合でも、各自の画面を最小限に
できます。管理者の設定は不要です。



電子カルテデータ活用AI

機能

ヘッダーの「 電子カルテ」ボタンで、お使いのブラウザに電子カルテを開きます。カルテを開くと患者ダッシュボード（検査の間隔・受診履歴・傷病名・健診状況）が並んで表示されます。

初回設定

ヘッダーの  から開く設定ページの手順どおりに、拡張機能（Tampermonkey）の追加とスクリプトのインストールを行います。設定は各パソコンで 1 回だけ必要です。

自動処理との関係

閲覧はお使いのブラウザ、自動処理は専用ブラウザと分離しているため、プログラム実行の終了処理で閲覧中の画面が閉じることはありません。

ポイント

電子カルテ画面右下のバーで「電子カルテのみ／並べて表示／ダッシュボードのみ」を切り替えられます。スクリプトの更新はサーバーから自動で配信されます。

デジカル初回設定（患者ダッシュボード）

この設定を行うと、**お使いのブラウザ**で digikar.jp を開いたときに 患者ダッシュボードと [デジカル] [並べて] [ダッシュボード] の切替バーが表示されます。設定は各パソコンで **1回だけ** 必要です。

前提: このパソコンから digikar.jp にログインできること（クライアント証明書の設定済み）。

1 Tampermonkey 拡張機能を入れる

ブラウザにユーザースクリプトを追加するための拡張機能です。すでに入っていれば次へ。

[Chrome / Edge 用 Tampermonkey を開く](#)

⚠ 最近の Chrome では追加の許可が必要です: chrome://extensions を開き、Tampermonkey の「詳細」で「**ユーザースクリプトを許可する**」（無い場合は画面右上の**デベロッパーモード**）を ON にしてください。

2 患者ダッシュボードのスクリプトを入れる

下のボタンを押すと Tampermonkey のインストール画面が開くので、「インストール」を押してください。

 [スクリプトをインストール](#)

押しても JavaScript の文字がそのまま表示される場合は、手順1（Tampermonkey と許可設定）が完了していません。

3 デジカルを開いて確認する

ヘッダーの「 デジカル」ボタン、または下のボタンで digikar.jp を開きます。

[digikar.jp を開く](#)

✔ 画面右下に  **デジカル**  **並べて**  **ダッシュボード** のバーが出ていれば設定完了です。カルテを開くと患者ダッシュボードにデータが表示されます。スクリプトはこのサーバーから配信され、更新があれば Tampermonkey が自動で取り込みます。

プログラム実行の共通フロー

1 タイルをクリック

実行フォームが開きます

2 フォームに入力

患者番号は「 取得」で当日受付一覧から選択できます

3 実行ボタンを押す

Claude が自動で処理（進捗ログに操作が流れます。他の利用者が電子カルテを操作中は「順番待ち」と表示され、順に実行）

4 結果を確認

右側のプレビューに HTML / リンクが表示されます

5 ダウンロード

PDF・Excel・Word などのボタンから保存



MedicalClaude Claudeによるクリニック業務支援

← プログラム一覧へ システム管理者（システム管理者） ログアウト

電子カルテ業務 受付業務 マーケティング 備品管理 事務業務 経営分析 AI関係

カルテ点数・処方レビュー

指定患者の最新カルテ（または指定日付の全受診患者）を から読み取り、保険点数の排他関係違反・算定漏れ・病名不整合・回数制限超過を抽出し、前回処方との差分（追加・中止・用量変更）も併せてレポート化します。**読取り専用** でカルテを書き換えません。

対象日（任意）
07/20/2026

この日付の受付一覧から「 取得」で患者を呼び出せます。患者番号なしで日付だけ指定すると、その日の全受診患者を一括レビュー

取得対象ステータス
会計済以外（既定）

「 取得」で患者一覧を取得する際のステータスフィルタ

患者番号（任意）
例: 55555550  取得 リセット

指定すると単一患者のカルテをレビュー。「 取得」で対象日の患者一覧から選択可能

カルテ番号 / visitId（任意）
例: 12149504

特定のカルテだけを見たい時に visit_id を指定（省略時は最新）

前回処方の比較範囲
直前1回

処方差分を取る「前回」の範囲。複数回前と比較したい時に変更

PDF も生成
HTML + PDF

・ 進捗ログ

結果プレビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。



診療準備レポート

機能

指定日の予約を 電子カルテ から取得し、担当医別・診療科別の患者数、準備が必要な患者、ワクチン接種者、内科患者の血液検査履歴をまとめたレポートを生成します。

主な入力

対象日（既定＝翌診療日）／ ステータス ／ 時間帯（午前・午後）

成果物

HTML + PDF レポート（Slack 設定があれば自動送信）

ポイント

前日の夕方に実行しておくと翌朝の準備がスムーズです。

MedicalClaude

Claudeによるクリニック業務支援

← プログラム一覧へ

システム管理者（システム管理者）

ログアウト

電子カルテ業務

受付業務

マーケティング

備品管理

事務業務

経営分析

AI関係

診療準備レポート

指定日の予約を から取得し、担当医別・診療科別の患者数、準備が必要な患者、ワクチン接種者、内科患者の血液検査履歴をまとめたHTMLレポートを生成します。Slack 設定があれば PDF も自動送信します。

対象日 *

07/21/2026

クリニックの翌日（日曜は自動で月曜に）が初期値

ステータス

全部

抽出する予約のステータス（デフォルトは全部）

時間帯

1日

集計対象の時間帯

レポートを生成

状態: 待機中

実行履歴（3ヶ月保持）

更新

全て

成功

失敗

実行中

（実行履歴がここに表示されます）

進捗ログ

結果プレビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。

成果物サンプル 診療準備レポート





診療SOAP → カルテ入力

機能

診療音声を文字起こし→SOAP形式に整形し、電子カルテの当日カルテへ自動入力・保存します。保険点数はクリニック標準セットを自動展開。

主な入力

患者番号 / 音声 (🎙️ ブラウザ録音 または 音声ファイル)

成果物

カルテ保存 + 保存後のスクリーンショット (患者氏名は自動で黒塗り) + SOAPテキスト

ポイント

処方前回 Do 履歴がある場合のみ提案し、自動入力はしません。【書込系】実行前に内容をよく確認してください。

The screenshot displays the MedicalClaude web application interface. The top navigation bar is green with the 'MedicalClaude' logo and the tagline 'Claudeによるクリニック業務支援'. It includes a 'プログラム一覧へ' (Go to Program List) button, a user role indicator 'システム管理者 (システム管理者)', and a 'ログアウト' (Logout) button. Below the navigation bar, a horizontal menu contains icons and labels for various functions: '電子カルテ業務' (Electronic Medical Record Business), '受付業務' (Reception Business), 'マーケティング' (Marketing), '備品管理' (Inventory Management), '事務業務' (Administrative Business), '経営分析' (Business Analysis), and 'AI関係' (AI Related).

The main content area is divided into two columns. The left column is titled '診療SOAP → カルテ入力' (Medical SOAP to Medical Record Input) and contains a detailed description of the process: '診療音声 (または既に話者分離済みのテキスト) を取り込み、SOAP形式に整形し、の本日カルテに自動入力・保存します。保険点数はクリニックの標準セットが自動展開されます。処方薬は前回 Do 履歴がある場合のみ提案し、自動入力はしません。' (Import medical voice (or already speaker-separated text), format it into SOAP format, and automatically input and save it to today's medical record. Insurance points are automatically expanded from the clinic's standard set. Prescriptions are only suggested if there is a previous Do history, and automatic input is not performed.)

The form includes several input fields and buttons: '診療日 *' (Medical Date) with a date picker set to '07/20/2026'; a note about patient selection; '取得対象ステータス' (Acquisition Target Status) set to '会計済以外 (既定)' (Except for accounting (default)); '患者番号 *' (Patient Number) with a dropdown showing '例: 55555550' and buttons for '取得' (Acquire) and 'リセット' (Reset); a '音声' (Voice) section with a '診療開始' (Start Medical Session) button and a '再生' (Play) button; a file selection area with a 'Choose File' button and 'No file chosen' text; and a 'ファイル未選択' (File not selected) warning. At the bottom, there is a '話者分離済テキスト (任意)' (Speaker-separated text (optional)) field.

The right column is titled '進捗ログ' (Progress Log) and contains a '結果プレビュー' (Result Preview) section with a placeholder text: 'プログラムの実行結果がここに表示されます。' (The execution results of the program will be displayed here.)

成果物サンプル 診療SOAP（カルテ保存画面）

電子カルテ

サンプル画面イメージ

カルテ保存済み 15:42

患者番号 99999 氏名 自動黒塗り 51歳・男性 内科・再診 診療日 2026-07-15

診療記録（SOAP） — 音声から自動入力

S

健診で血圧を指摘され受診。自覚症状は特になし。家庭血圧は朝 130～135/80 台。飲酒は週2回、缶ビール1本程度。

O

血圧 148/92 mmHg、脈拍 76 整。心音・呼吸音 異常なし。体重 68.2 kg（BMI 24.8）。下腿浮腫なし。

A

本態性高血圧症。家庭血圧と診察室血圧に乖離あり、白衣効果の可能性。生活習慣（塩分・体重）の改善余地あり。

P

減塩 6g/日・体重 -2kg を目標に生活指導。家庭血圧手帳を継続記録。4週間後に再診し、改善なければ薬物療法を検討。次回来院時に採血（脂質・血糖・腎機能）。

本日の算定（標準セット自動展開）

再診料	75 点
外来管理加算	52 点
生活習慣病管理料2	333 点
合計	460 点

処方（前回 Do 提案 — 自動入力はありません）

アムロジピン錠 5mg 1日1回 朝	前回 Do
ロスバスタチン錠 2.5mg 1日1回 夕	前回 Do

※ 本画面はダミーデータによる説明用イメージです

🖨️ カルテ保存後のスクリーンショット — 患者氏名は自動で黒塗り（画面はダミーデータの説明用イメージ）

※ ダミーデータ／サンプルによる生成例です。実際の成果物は実行後の「結果プレビュー」からダウンロードできます。



検査結果インポート

機能

検査結果データを各ツールへ取り込む専用プログラム。
フォーマット変換は行いません（変換は『検査データ フォーマット変換』で）。

取り込み先

電子カルテ（取込形式に変換して検査結果取込に登録）と
RSbase（RS772372 ファイルを取込フォルダへコピー）を
独立に指定。コピー先フォルダの上書き指定も可能。

主な入力

患者番号 / 検査ファイル（CSV・Excel・PDF・画像・SRL
結果TXT。📁 最近のファイルから選択可）

成果物

患者交付用 A4 説明 PDF（基準値内／やや変化／要相談バッ
ジ付き）

MedicalClaude

Claudeによるクリニック業務支援

← プログラム一覧へ

システム管理者（システム管理者）

ログアウト

電子カルテ業務

受付業務

マーケティング

備品管理

事務業務

経営分析

AI関係

検査結果インポート

検査結果データを各ツールへ**インポート**する専用プログラムです。検査ファイル（CSV / Excel / PDF / 画像 / SRL結果TXT）を読み取り、「検査結果取込」機能で患者カルテに登録。④RSbase: RS772372 形式のファイルを取込フォルダへそのままコピー。患者交付用の A4 説明 PDF も生成します。フォーマット間の変換（CAR/MSS/RS772372 など）はここでは行いません。『検査データ フォーマット変換』で変換してから取り込んでください。

患者番号 *

例: 55555550

取得

リセット

の患者番号 (半角数字)

検査結果ファイル *

Choose File

No file chosen

最近の検査ファイルから選択...

ファイル未選択

検査会社からの CSV / Excel / PDF / SRL結果TXT または検査結果用紙の写真。アップロードのほか、下の「最近の検査ファイルから選択」も使えます。

採取日

07/20/2026

採血を行った日付。ファイル内に記載があればそちらを優先します。

クリニック名 (患者 PDF ヘッダ)

当クリニック

患者交付用 PDF のヘッダに表示する名称

進捗ログ

結果プレビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。

成果物サンプル 患者交付用 検査説明 PDF

10
基準値内 ■

2
やや変化 ▲▼

0
要相談 ▲▲▼▼

0
値なし —

血液検査結果のお知らせ

発行: サンプルクリニック / 発行日: 2026-07-20 / 採取日: 2026-07-15 / 患者番号: 99999

■ 血算

項目	結果	単位	基準値	判定
白血球数 WBC	6.2	10 ³ /μL	3.3 ~ 8.6	■ 基準値内
ヘモグロビン HGB	145	g/dL	13.7 ~ 16.8	■ 基準値内

■ 肝・胆道

項目	結果	単位	基準値	判定
AST (GOT) AST	25.0	U/L	13 ~ 30	■ 基準値内
ALT (GPT) ALT	30.0	U/L	10 ~ 42	■ 基準値内
γ-GTP GGT	40.0	U/L	13 ~ 64	■ 基準値内

■ 腎機能

項目	結果	単位	基準値	判定
クレアチニン CRE	0.82	mg/dL	0.65 ~ 1.07	■ 基準値内
尿酸 UA	6.2	mg/dL	3.6 ~ 7	■ 基準値内

■ 脂質

項目	結果	単位	基準値	判定
LDLコレステロール LDL	148	mg/dL	60 ~ 119	▲ やや高い
HDLコレステロール HDL	62.0	mg/dL	40 ~	■ 基準値内
中性脂肪 TG	110	mg/dL	30 ~ 149	■ 基準値内

■ 糖代謝

項目	結果	単位	基準値	判定
HbA1c (NGSP) HbA1c	6.4	%	4.6 ~ 6.2	▲ やや高い
血糖 GLU	105	mg/dL	73 ~ 109	■ 基準値内

■ 注意項目の用語解説

LDLコレステロール	いわゆる悪玉コレステロール。
HbA1c (NGSP)	過去1~2か月の平均血糖を反映します。

※ この資料は検査値を分かりやすくまとめたものです。結果の解釈・治療方針については、必ず担当医師の説明をお受けください。



患者向け検査結果説明 PDF（A4） — 基準値内／やや変化／要相談のバッジ付き

※ ダミーデータ／サンプルによる生成例です。実際の成果物は実行後の「結果プレビュー」からダウンロードできます。

🔍 カルテ点数・処方レビュー

機能

指定患者の最新カルテ（または指定日の全受診患者）を読み取り、保険点数の排他関係違反・算定漏れ・病名不整合・回数制限超過を抽出。前回処方との差分も一覧化します。

主な入力

患者番号 または 対象日（一括レビュー）

成果物

HTML／PDF の監査レポート

ポイント

読取専用 — カルテを書き換えることはありません。

MedicalClaude

Claudeによるクリニック業務支援

← プログラム一覧へ

システム管理者 (システム管理者)

ログアウト

電子カルテ業務

受付業務

マーケティング

備品管理

事務業務

経営分析

AI関係

📄

カルテ点数・処方レビュー

指定患者の最新カルテ（または指定日付の全受診患者）を から読み取り、保険点数の排他関係違反・算定漏れ・病名不整合・回数制限超過を抽出し、前回処方との差分（追加・中止・用量変更）も併せてレポート化します。**読取り専用**でカルテを書き換えません。

対象日 (任意)

07/20/2026

この日付の受付一覧から「☐ 取得」で患者を呼び出せます。患者番号なしで日付だけ指定すると、その日の全受診患者を一括レビュー

取得対象ステータス

会計済以外 (既定)

「☐ 取得」で患者一覧を取得する際のステータスフィルタ

患者番号 (任意)

例: 55555550

☐ 取得

リセット

指定すると単一患者のカルテをレビュー。「☐ 取得」で対象日の患者一覧から選択可能

カルテ番号 / visitId (任意)

例: 12149504

特定のカルテだけを見たい時に visit_id を指定 (省略時は最新)

前回処方の比較範囲

直前1回

処方差分を取る「前回」の範囲。複数回前と比較したい時に変更

PDF も生成

HTML + PDF

進捗ログ

結果プレビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。

成果物サンプル カルテ点数・処方レビュー

カルテレビュー — 2026-07-15 受診患者一覧

生成日時: 2026-07-15T18:30:00 / 対象 1 件 / 警告合計: High 1 / Med 1 / Low 0

カルテ レビュー

#1 患者 99999 / カルテID sample 2026-07-15

算定合計

520 点

警告

High 1 / Med 1 / Low 0

処方差分

+ 0 / ⇄ 1 / − 0 / ✓ 1

病名

高血圧症、脂質異常症、2型糖尿病

算定済み診療行為

コード	項目名	点数	数量	区分
112007410	再診料		75	1 基本診療料
113001810	外来管理加算		52	1 基本診療料
113002850	生活習慣病管理料2		333	1 医学管理
120002370	処方箋料		60	1 投薬
合計			520	

保険点数チェック

重要度	区分	項目 / 点数	理由	根拠	推奨 (自信度)
HIGH	排他関係違反	外来管理加算 52点	生活習慣病管理料2と同日算定不可 (排他関係)	生活習慣病管理料2 333点 と併算定	外来管理加算を削除 (high)
MED	算定漏れ	特定疾患処方管理加算 56点	対象病名 (高血圧症) で28日以上長期処方があり算定漏れの可能性	アムロジピン 28日分 処方	算定可否を確認 (medium)

🔍 監査レポート（HTML/PDF） — 排他関係違反・算定漏れを重要度バッジで一覧化、処方差分も表示

※ ダミーデータ／サンプルによる生成例です。実際の成果物は実行後の「結果プレビュー」からダウンロードできます。



栄養指導レポート

機能

最新カルテ＋過去カルテ（最大3回）と検査値推移を 電子カルテ から読み取り、病態に応じた食事・運動・生活習慣の指導レポートを生成します。

主な入力

患者番号 / 参照するカルテ数・検査回数 / PDF 生成の有無

成果物

A4 約2ページの HTML/PDF（検査値の折れ線グラフ入り）

ポイント

外来栄養食事指導料の算定根拠資料としても活用できます。
読取専用。

MedicalClaude

Claudeによるクリニック業務支援

← プログラム一覧へ

システム管理者（システム管理者）

ログアウト

電子カルテ業務

受付業務

マーケティング

備品管理

事務業務

経営分析

AI関係

栄養指導レポート

指定患者の最新カルテと最大 3 回分の過去カルテ、最大 3 回分の検査値推移を から読み取り、病態に応じた食事改善・運動・生活習慣の具体的な提案を A4 2 ページ (グラフ入り) の HTML/PDF レポートで生成します。 **読取り専用**で カルテを書き換えません。

対象日 (任意)

07/20/2026

この日付の受付一覧から「取得」で患者を呼び出せます。栄養指導レポート自体は患者単位で生成します

取得対象ステータス

会計済以外 (既定)

「取得」で患者一覧を取得する際のステータスフィルタ

患者番号 *

例: 55555550

取得

リセット

栄養指導レポートを作成する対象患者の番号。「取得」で対象日の患者一覧から選択可能

取得するカルテ数

最新 + 過去 1 回

SOAP・処方差分を見たい範囲。多いほど時間がかかります

検査値の回数

最新 1 回

グラフの推移を見るには 2〜3 回がおすすめ

PDF も生成

HTML + PDF

進捗ログ

結果プレビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。

成果物サンプル 栄養指導レポート

栄養指導レポート - 患者番号

診療科: 内科 / 主治医: 木村 仁志 / 年齢: 40 / 性別: 男 / 生成: 2026-07-01T18:38:43

現在の主病名: 糖尿病(糖尿病予防指導管理料より)、慢性腎臓病(慢性腎臓病予防指導管理料より)、高血圧症(充実管理加算より)、脂質異常症(充実管理加算より)

サマリ: 記録された最近2受診(20・6月)はいずれもトラベルワクチン目的の受診でしたが、算定内管から糖尿病、慢性腎臓病、高血圧症、脂質異常症の4疾患で生活習慣病管理下にあります。今回は検査データが未取得のため、生活習慣(食事・運動・減塩)中心の指導とし、次回外来前の採血で現状把握を行う方針とします。糖尿病とCKDの合併があり、血圧・血糖・脂質の管理が腎機能保護に直結します。

所見ハイライト

- 算定内容(糖尿病予防指導管理料350点・慢性腎臓病予防指導管理料300点・生活習慣病管理料2・充実管理加算[高血圧症/脂質異常症])から、糖尿病・慢性腎臓病・高血圧症・脂質異常症の4疾患で管理されている。
- 検査データ未取得のため、今回は生活習慣中心の指導とする。次回外来前にHbA1c・空腹時血糖・脂質(LDL/HDL/中性脂肪)・腎機能(eGFR・尿蛋白・尿中アルブミン)・電解質の採血を強く推奨する。
- CKDが合併しており、血圧・血糖・脂質の厳格管理が腎症進行の抑制に直結する。減塩と食後歩行はすぐ着手できる効果が高い。
- 抗高血圧薬の投与がなく、糖尿病(降糖薬・血糖降下薬・脂質低下薬などは医師に要確認)。食事・サプリとの相互作用の確念があれば医師に相談すること。
- ため、たんぱく質・カリウム・電解質の調整はステージ(eGFR)に応じ個別化が必要。過度な自己制限は避け、医師・管理栄養士の指示に従うこと。

検査データの推移

検査データなし

達成目標

項目	現状	目標	達成目安
HbA1c	未測定(要採血)		
空腹血圧	未測定(自己測定を開始)		
LDLコレステロール	未測定(要採血)		
体重・BMI	未測定(自己測定を開始)		
食塩摂取量	未評価		

食事改善

基本方針

- 確定エネルギーは1日1800〜2000kcal目安(標準体重×25〜30kcal)
- 実体重増減のうえ管理栄養士が調整
- PFC(バランスはたんぱく質15〜20%・脂質20〜25%・炭水化物50〜60%)
- 食塩は8g/日未満、食物繊維は20〜25g/日、飽和脂肪酸はエネルギー比7%未満を目指す
- CKD合併のためたんぱく質は0.8〜1.0g/kg標準体重/日を目安とし、eGFRに応じて医師・管理栄養士が調整する

取り入れたい食材・食習慣

- 野菜を1日350g以上(うち緑黄色野菜120g)、毎食小鉢1〜2皿を先に食べて血糖上昇を抑えるやかに。
- 主食は玄米・大麦・全粒粉に置き換え、1食150〜180g(茶碗軽く1杯)。低GIで血糖・中性脂肪対策。
- 魚油(サバ・イワシ・アジ)を週3〜4回、1回80〜100g、EPA/DHAでLDL・中性脂肪を下げる。
- 大豆製品(豆腐1丁または納豆1パック)を1日1回。良質たんぱく質と食物繊維。
- だし・酢・香辛料・レモンで減塩調理。汁物は1日1杯まで(具沢山にし汁を減らす)。
- 果物は1日1単位(みかん2個・りんご半分、約150〜200g)まで。食べ過ぎは中性脂肪増加に注意。
- 無糖ヨーグルト・低脂肪乳を1日1回。カルシウムとカリウムで血圧対策(CKDのK制限指示があれば医師に確認)。
- 水分は1日1.5〜2L(医師の水分制限指示があれば)。清涼飲料でなく水・お茶で。

控えたい食材・食習慣

- ラーメン・うどんなど麺類の汁は残す(1杯で塩分6〜8g)。
- ハム・ソーセージ・ベーコンなど加工肉(飽和脂肪・塩分・リンが多くCKDに不利)。
- 菓子パン・清涼飲料・果汁ジュース(血糖の上昇と中性脂肪増加)。
- 揚げ物・スナック菓子(飽和脂肪・トランス脂肪酸でLDL上昇)。
- 漬物・佃煮・干物・練り製品(塩分)。
- 甘い缶コーヒー・エナジードリンク(飽和脂肪)。
- ビールの多数・内臓や干物の食べ過ぎ(尿酸・プリン体、CKDに配慮)。

1日の献立例

朝食	玄米ごはん150g、納豆1パック、減塩・具沢山の味噌汁1杯、焼き魚小1切、ほうれん草のお浸し
昼食	麦ごはん150g、鶏むね肉のグリル100g、漬物系サラダ(ノンオイル/酢ドレッシング)、無糖ヨーグルト
夕食	ごはん150g、サバの塩焼き(減塩80〜100g)、豆腐と野菜の煮物、きゅうりとわかめのお酢の物、汁物は控えめ
間食	煮菓子タラップ10〜15粒 または無糖ヨーグルト、果物を摂る場合は150g以内。

栄養指導レポート（HTML/PDF・A4 約2ページ） — 病名整理・所見ハイライト・達成目標

※ ダミーデータ／サンプルによる生成例です。実際の成果物は実行後の「結果プレビュー」からダウンロードできます。

19

生活習慣改善 PPT

機能

患者の身体情報とカルテ・検査値から、食事・運動・睡眠・嗜好品の改善プランを構造化し、スライド資料を自動作成します。

主な入力

患者番号 / 身長・体重・年齢・性別

成果物

ダウンロード可能な PowerPoint (.pptx) + HTML プレビュー。各スライドに AI 生成の医療教育向けイラスト入り (OpenAI 画像生成を使用)

ポイント

読取専用。生成後に PowerPoint で自由に編集できます。

MedicalClaude

Claudeによるクリニック業務支援

← プログラム一覧へ

システム管理者 (システム管理者)

ログアウト

電子カルテ業務

受付業務

マーケティング

備品管理

事務業務

経営分析

AI関係

生活習慣改善 PPT

指定患者の身長・体重・年齢・性別と、最新カルテ + 過去最大 3 回 (既定 1 回)、検査値最大 3 回 (既定 1 回) を から読み取り、食事・運動・睡眠・嗜好品の 改善プランを構造化。OpenAI の画像生成 API で各スライドに合った医療教育向けイラストを 自動生成し、ダウンロード可能な PowerPoint (.pptx) と HTML プレビューを出力します。*読取り専用* でカルテを書き換えません。

対象日 (任意)

07/20/2026

この日付の受付一覧から「取得」で患者を呼び出せます。PPT 自体は患者単位で生成します

取得対象ステータス

会計済以外 (既定)

「取得」で患者一覧を取得する際のステータスフィルタ

患者番号 *

例: 55555550

取得

リセット

PPT を作成する対象患者の番号。「取得」で対象日の患者一覧から選択可能

取得するカルテ数

最新のみ (既定)

SOAP・処方の参照範囲。多いほど時間がかかります

検査値の回数

最新 1 回 (既定)

検査値の推移を見るには 2~3 回がおすすめ

進捗ログ

結果プレビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。

成果物サンプル 生活習慣改善 PowerPoint

生活習慣改善プラン

患者番号 99999 / 作成日 2026-07-01

年齢	51 歳
性別	男
身長	— cm
体重	— kg
BMI	—
診療科 / 担当医	健康診断 / 木村 仁志

主な病名

・高血圧症 ・脂質異常症 ・糖尿病（透析予防指導管理料算定あり） ・慢性腎臓病（CKD・透析予防指導管理料算定あり）

表紙 — 患者情報 + AI 生成イラスト (gpt-image-2)

食事改善プラン

推定エネルギー1800～2000kcal/日（活動量に応じ調整）。PFCバランスはタンパク質15～20%・脂質20～25%・炭水化物50～60%を目安。食塩は6g/日未満に減塩、飽和脂肪は総エネルギーの7%未満、食物繊維は20～25g/日を目標。腎保護の観点からタンパク質は0.8～1.0g/kg/日程度に留め、極端な高タンパクを避ける。

おすすめ	控えたい
○ 野菜を1日350g以上（毎食両手1杯）。特に葉物・きのこ・海藻で食物繊維とカリウムを補う（腎機能低下が進む場合はカリウム量を医師に確認）	× ラーメンの汁・漬物・練り物・加工肉（塩分過多で血圧上昇）
○ 青魚（サバ・イワシ・アジ）を週3回、1食80～100g。DHA/EPAで中性脂肪を下げる	× 菓子パン・清涼飲料・スポーツドリンク（糖質・果糖過多で血糖と中性脂肪を上げる）
○ 主食は白米より雑穀米・大麦入りご飯を茶碗軽く1杯（150g）。低GIで食後血糖の上昇を緩やかに	× バター・ラード・生クリーム・脂身の多い肉（飽和脂肪でLDL上昇）
○ だし・酢・レモン・香辛料で減塩しても満足感を出す。汁物は1日1杯・具たくさんにして汁を半分残す	× マーガリン・ショートニングを使った洋菓子（トランス脂肪）
○ 大豆製品（豆腐半丁・納豆1パック）を1日1回、良質な植物性タンパクとして	× インスタント食品・レトルト・外食の重ね塩（塩分・脂質が高い）
○ 果糖の多い飲み物（りんご半分やみかん1個）まで。果糖のとり過ぎに注意	× 夜遅い時間（就寝2～3時間前）の食事・夜食（血糖・逆流・睡眠の質に悪影響）
【朝】 麦ごはん軽く1杯、納豆、具たくさん味噌汁（減塩）	× 食塩量の多い麺類の頻食（週2回以内に）
【昼】 雑穀ごはん、鶏むね肉の蒸し料理、野菜サラダ（ノンオイル・酢）、わかめスープ。外食なら定食・汁物は残す	
【夕】 ごはん少なめ、サバの塩焼きは薄味に、豆腐と野菜の煮物、きのこ炒め（油控えめ）。就寝2～3時間前までに	
【間食】 無塩ナッツ握り（25g程度）、素焼きのアーモンド、無糖ヨーグルト。菓子・スナックは控える	

食事改善プラン — おすすめ／控えたい食品を具体量つきで提示

検査データ フォーマット変換

機能

SRL 外注検査の結果ファイル（RS772372／MSSKEKA／CAR_KEKA）や CSV・Excel・PDF を自動判定し、各システムの取込フォーマットへ相互変換します。

主な入力

検査結果ファイル ／ 変換先（3形式・組合せ） ／ 患者番号指定（1名のみ変換） ／ 性別・受付オーダー番号の補完

成果物

変換済みファイル + 変換件数・対象外項目・警告をまとめた HTML レポート

ポイント

検査データの変換はすべてこのプログラムで行い、変換後のファイルを『検査結果インポート』で各ツールに取り込みます。



The screenshot displays the web application interface for converting check data formats. The interface is divided into two main sections: a left sidebar for settings and a right main area for the results.

Left Sidebar (Settings):

- Header:** Includes a refresh icon and a title bar.
- Instructions:** A text block explaining the conversion process: "(RS772372) の各フォーマットへ変換します。変換件数・対象外項目・警告をまとめた HTML レポート付き。複数フォーマットを同時入力すると患者番号とオーダー番号が相互補完されます。検査データの変換はすべてこのプログラムで行い、変換後のファイルを『検査結果インポート』で各ツール (RSbase) に取り込みます。"
- Check Result File:** A section with a "Choose File" button and a "No file chosen" status. Below it is a dropdown menu labeled "最近の検査ファイルから選択..." (Select from recent check files...). A note below states "ファイル未選択" (File not selected).
- Format Selection:** A section with a "Choose File" button and a "No file chosen" status. Below it is a dropdown menu labeled "最近の検査ファイルから選択..." (Select from recent check files...). A note below states "ファイル未選択" (File not selected).
- Conversion Format:** A dropdown menu currently set to "3形式すべて" (All 3 formats).
- Patient Number:** A section with a dropdown menu showing "例: 26896" (Example: 26896), a "取得" (Get) button, and a "リセット" (Reset) button. A note below states "指定するとこの患者のみ変換。空欄でファイル内の全患者を変換" (Specify to convert only this patient. Leave blank to convert all patients in the file).
- Patient Name:** A text input field with a placeholder "例: マツト ヒロキ" (Example: Matsuhiro Hiroki).
- Gender Completion:** A dropdown menu currently set to "指定なし (元データのまま)" (No specification (keep original data)). A note below states "RSbase 出力に必要な性別が元データに無い場合に補完" (Complete gender if not present in original data for RSbase output).

Right Main Area (Results):

- Header:** A title bar labeled "結果レポート" (Result Report).
- Content:** A large text area with the message "プログラムの実行結果がここに表示されます。" (The execution results of the program are displayed here.).

Footer: A green circular chat icon is located in the bottom right corner.

成果物サンプル フォーマット変換レポート

🔪 検査データ フォーマット変換レポート (サンプル)

作成: 2026-07-20 12:10 / 対象検査日: 20260715 / 患者数: 6 名

変換結果

出力フォーマット	変換件数	対象外項目 (変換先に存在しない)	ファイル
CAR_KEKA (電子カルテ取込用)	128 件	シスタチンC×2	ダウンロード
MSSKEKA (MSS取込用)	115 件	なし	ダウンロード
RS772372 (RSbase取込用)	132 件	なし	ダウンロード

⚠ 警告

- 受付オーダー番号は日付+患者番号で代替生成: サンプル患者 (20260715)

対応表は 2026-06 サンプル 19 ファイルの突き合わせで検証済み (RS→CAR 一致率 99.8%)。
取込前に各システムでのプレビュー確認を推奨します。

 変換レポート (HTML) — 3形式それぞれの変換件数・対象外項目・警告・ダウンロードリンク

※ ダミーデータ／サンプルによる生成例です。実際の成果物は実行後の「結果プレビュー」からダウンロードできます。



MSS 栄養解析 依頼・状況管理

機能

MSS システム (mssco.jp) に安全に接続し、栄養解析の状況確認・履歴取得・解析依頼を行います。完了した解析のレポート PDF を自動保存します。

主な入力

操作（状況確認・履歴・解析依頼）／完了レポートのダウンロード方法／対象月・患者番号（任意）

成果物

状況・履歴の一覧レポート（HTML）＋完了レポート PDF（栄養解析・サプリメント・アドバイスシート）

ポイント

ダウンロードした PDF は患者番号ごとに保存され、「MSS 栄養解析レポート作成」の入力として選択できます。

The screenshot shows the MedicalClaude web application interface. The top navigation bar is green with the MedicalClaude logo and text "Claudeによるクリニック業務支援". It includes a "プログラム一覧へ" button, a "ダッシュボード" button, and a "システム管理者 (システム管理者)" button with a "ログアウト" button. Below the navigation bar is a menu with icons for "電子カルテ業務", "受付業務", "マーケティング", "備品管理", "事務業務", "経営分析", and "AI関係". The main content area is divided into two columns. The left column is titled "MSS 栄養解析 依頼・状況管理" and contains a description of the system, a "操作" dropdown menu (currently set to "栄養解析状況の確認"), a "解析完了データをダウンロードする" dropdown menu (currently set to "しない (状況の確認のみ)"), and input fields for "対象月 (履歴用・任意)" (example: 202607) and "患者番号 (依頼用)" (example: 31524). The right column is titled "進捗ログ" and contains a "結果プレビュー" section with a placeholder text "プログラムの実行結果がここに表示されます。". A green chat bubble icon is located in the bottom right corner.

MSS 栄養解析レポート作成

機能

MSS（栄養解析サービス）が返す栄養解析・サプリメントレポート PDF を読み込み、患者・保護者向けにわかりやすく書き直したクリニックオリジナルの Word 文書を生成します。

主な入力

患者氏名 / MSS の PDF（栄養解析・サプリメント） / 対象（お子さま・大人で語り口切替） / 追加指示

成果物

①栄養アドバイスレポート（総合評価・3つのサイン・食事の工夫・3ヶ月プラン）②サプリメント提案（優先順位ステップ・MSSダイレクト購入案内）の Word 2通

ポイント

文書構成は院内の完成版レポート例を踏襲。数値・製品は MSS レポートに実在するもののみ使用します。



本プログラムは院内の完成版レポート例を踏襲し、生成します。①栄養アドバイスレポート（総合評価・3つのサイン・大切な栄養素・食事の工夫・3ヶ月プラン）②サプリメント オーダーメイド提案（優先順位ステップ・製品別解説・MSSダイレクト購入案内）。文書構成は院内の完成版レポート例を踏襲します。

患者氏名（漢字）*

例: 上田 詩

文書内で「〇〇様」と表記されます

MSS 栄養解析レポート (PDF)

Choose File No file chosen

最近の検査ファイルから選択...

ファイル未選択

MSS から返却された栄養解析レポート。栄養アドバイス生成に必須

MSS サプリメントレポート (PDF・任意)

Choose File No file chosen

最近の検査ファイルから選択...

ファイル未選択

MSS のサプリメントレポート。サプリ提案の製品名・用量の根拠になります

生成するレポート

栄養アドバイス + サプリメント提案 (2通)

対象

お子さま (保護者向けの語り口)

呼び名 (任意)

例: 詩さん

文中で使う親しみのある呼び名。空欄なら名前から自動生成

年齢・性別 (任意)

例: 8歳・女性

結果レビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。

成果物サンプル MSS 栄養アドバイスレポート

 はじめての方へ このレポートの読み方

このレポートは、花子さんの血液検査と問診の結果をもとに、どんな栄養素が足りていないか・どんな食生活を心がけるとよいかを、栄養医学の視点からわかりやすくまとめたものです。

ポイント：「基準値内=健康」とは限りません
栄養医学の視点で見ると「足りていない栄養素が隠れている」ことがよくあります。

 総合評価

評価：C（成長に必要な栄養を、少しずつ整えていきましょう）
血液検査の結果、タンパク質と鉄がやや不足しているサインが見つかりました。
食事の工夫とサプリメントで、無理なく整えていきます。
3ヶ月後にもう一度血液検査を受けて、改善を確認しましょう。

🔍 **今、気になっている症状**

問診でお答えいただいた症状です。これらは栄養の不足や体の状態と深く関わっています。

症 状	程度	関係する栄養
疲れやすい	時々	鉄・ビタミンB群（元気のもと）
顔色が悪い	時々	鉄・タンパク質（血のめぐり）

いずれも「時々」で、今からの栄養ケアで整えていけるものばかりです。

 検査からわかった2つのサイン

たくさんの検査項目の中から、特に大切な2つのポイントをお伝えします。

サイン① 体をつくるタンパク質がやや足りていません

【わかりやすく言うと】

タンパク質は筋肉・血液・肌・免疫の材料になる、最も大切な栄養素です。

関係する数値：
総蛋白 6.5 g/dl・アルブミン 4.0 g/dl（やや低め）

サイン② 鉄が十分に使えていません

【わかりやすく言うと】

鉄は全身に酸素を運ぶミネラルです。赤血球が小さめなのは鉄不足のサインです。

✉ 紹介状作成（診療情報提供書）

機能

患者番号を入れて「電子カルテから取得」を押すと、患者基本情報・傷病名・直近カルテの経過を読み取り、診療情報提供書の下書きを作成します。傷病名は登録済みの病名からチェックで選べます。

主な入力

患者番号 / 紹介先（マスタから選択） / 紹介目的・症状経過・現在の処方（AI の下書きを医師が編集）

成果物

PDF（プレビューで確認してから作成）＋ Word。「電子カルテに保存」で診療情報提供書の登録と PDF のファイル添付まで自動で行います。

ポイント

紹介元（自院）の情報は既定値として保存されます。書込系のため、保存前に「確認のみ」で入力内容をチェックできます。

The screenshot shows the MedicalClaude web application interface for creating medical certificates. The header includes the logo, navigation links, and user information. The main content area is divided into three sections: 1. Patient Information (患者の取り込み), 2. Referral Information (紹介先), and 3. Referral Source (紹介元 (クリニック)).

1. 患者の取り込み

患者番号: 55555550 (with a button to get from digital records) or 過去の紹介状を読み込む (Load previous referral certificate).

患者情報・傷病名・経過・処方をデジタルから読み取り、下書きを自動作成します（1～2分）。取得済みの下書きがあれば患者番号を入れるだけで呼び出せます。

2. 紹介先

マスタから選択: (よく使う紹介先を選択) (Select from master: (Select frequently used referral source)).

紹介先医療機関名: (Referral source medical institution name). 診療科: (Medical department).

宛名（敬称含む）: 例: 御担当先生 御待史 (Addressee (including honorifics): Example: Your responsible doctor, Ogiuchi).

+ マスタに登録 (Add to master), 選択中を更新 (Update selected), 削除 (Delete).

入力中の紹介先を「+ マスタに登録」で保存すると、次回から選ぶだけで入力されます。

3. 紹介元 (クリニック)

紹介元医療機関名: きむら内科小児科クリニック (Referral source medical institution name: Kimura Internal Pediatrics Clinic). 医師氏名: 木村 仁志 (Doctor's name: Kimura, Niishi).

住所: 愛知県名古屋市緑区神の倉三丁目10番地 (Address: 10-1, Minami-ku, Nishiku, Aichi Prefecture).

電話番号: 052-876-8776 (Phone number). FAX番号: 052-876-7582 (FAX number).

PDF フォーマット

標準フォーマット (デジタル準拠) (Standard format (digital compliant)).

Word テンプレートを追加登録 (.docx) (Add Word template (.docx)). Choose File (No file chosen).

テンプレートを登録 (Register template). AIで自動変換して登録 (Register with automatic conversion by AI).

AI変換は、キー未設定の Word 紹介状の患者名・日付・本文などを自動で {{キー}} に置き換えます（1分ほど・進捗は左のログに表示）。

⚠ 変換元の Word には実在の患者名を使わず、ダミーの値を使ってください。ヘッダー・フッター・テキストボックス内の文字は変換対象外です。

テンプレートには {{patient_name}} のような差し込みキーを書きます。使えるキーの一覧は [こちら](#)。

作成

プレビュー (Preview). PDF を作成 (Create PDF). Word でダウンロード (Download Word).

☒ デジタルの診療情報提供書に登録する (Register digital medical certificate). ☒ PDF もデジタルの患者ファイルに保存する (Save PDF to digital patient file). ☐ 確認のみ（フォーム入力まで行い、保存しない） (Confirmation only (perform form input, do not save)).

✉ 紹介状作成 — 過去分の読み込み・紹介先マスタ・書式登録

過去の紹介状

「過去の紹介状を読み込む」で、電子カルテのファイルにある診療情報提供書 PDF（電子カルテ側で作成したものも含む）を一覧し、内容をフォームに復元できます。

紹介先マスタ

よく使う紹介先医療機関（診療科・宛名）を登録・変更・削除。次回からはプルダウンで選ぶだけです。

PDF フォーマット

院内の Word 書式（.docx）を登録すると自院のレイアウトで出力できます。「AI で自動変換して登録」を押せば、差し込み位置の設定を AI が行います。

ポイント

PDF はフォントを埋め込んで作成するため、他のパソコンで開いても文字が欠けません。

The screenshot displays the MedicalClaude web application interface. The main menu includes options like '電子カルテ業務' (Electronic Medical Record Business), '受付業務' (Reception Business), 'マーケティング' (Marketing), '備品管理' (Inventory Management), '事務業務' (Administrative Business), '経営分析' (Business Analysis), and 'AI関係' (AI Related). The current view is '紹介状作成 (診療情報提供書)' (Referral Letter Creation (Medical Information Provision Document)).

The '過去の紹介状を読み込む' (Load Past Referral Letters) modal window is open, showing a list of past referral letters. The list includes columns for the date, the document name, and the number of items that can be analyzed. Each row has a '読み込む' (Load) button.

Date	Document Name	Number of Items that can be Analyzed	Action
2026/09/01	MedicalClaude で作成 20260901_134503_55555550_診療情報提供書.pdf	15	読み込む
2026/09/01	MedicalClaude で作成 20260901_134437_55555550_診療情報提供書.pdf	10	読み込む
2026/08/31	MedicalClaude で作成 20260831_172617_55555550_診療情報提供書.pdf	19	読み込む
2026/08/31	MedicalClaude で作成 20260831_172427_55555550_診療情報提供書.pdf	16	読み込む
2026/08/31	MedicalClaude で作成 20260831_164503_55555550_診療情報提供書.pdf	12	読み込む

The background form shows the '1. 患者の取り込み' (Patient Collection) section with fields for '患者番号' (Patient Number) and '患者情報・傷病名・経過・処方をデジタルから読みます。' (Load patient information, diagnosis, course, and treatment from digital). The '2. 紹介先' (Referral Destination) section includes a dropdown for 'マスタから選択' (Select from Master) and a text field for '紹介先医療機関名' (Referral Destination Medical Institution Name). The '3. 紹介元 (クリニック)' (Referral Source (Clinic)) section includes fields for '紹介元医療機関名' (Referral Source Medical Institution Name), '医師氏名' (Physician Name), '住所' (Address), '電話番号' (Phone Number), and 'FAX番号' (FAX Number).

成果物サンプル 紹介状（診療情報提供書）

診療情報提供書

作成日:2026年09月09日

紹介先医療機関名
サンプル総合病院 循環器内科
山田 太郎 先生

紹介元医療機関名
住所
電話/FAX
医師署名(又は記名押印)

サンプル内科クリニック
愛知県名古屋市中区栄一丁目1番1号
TEL 052-000-0000 FAX 052-000-0001
見本 医師

患者氏名 見本 花子 性別 女性
患者住所 名古屋市中区 1-1-1
電話番号 090-0000-0000
生年月日 1965年04月01日生 年齢 61歳 職業 会社員

傷病名
高血圧症, 脂質異常症, 2型糖尿病

紹介目的
上記疾患につき、精査加療をお願いいたします。

症状経過及び検査結果
【2026/8/20 受診】
(S)動悸を自覚。労作時の息切れあり。
(O)BP 156/94, HR 92, HbA1c 7.4%, LDL 158 mg/dL。
(A)血圧・血糖のコントロール不良。
(P)降圧薬を増量し、循環器精査目的に紹介。
【2026/9/3 受診】
(S)動悸は軽減。
(O)BP 142/88, 心電図で軽度 ST 変化。

現在の処方
アムロジピン 5mg 1錠 分1 朝食後
ロスバスタチン 2.5mg 1錠 分1 夕食後

✉ 診療情報提供書（PDF・A4） — 傷病名・紹介目的・症状経過・現在の処方を標準書式で出力

※ ダミーデータ／サンプルによる生成例です。実際の成果物は実行後の「結果プレビュー」からダウンロードできます。

29

予約空き枠を毎朝7時にXへ投稿

機能

予約システム（デジスマ）にログインして対象日の予約枠を診療科ごとに取得し、15分刻みの空き人数を集計します。

「Xに投稿」を選ぶと本日の空き時間帯をX（旧Twitter）へ告知します。

主な入力

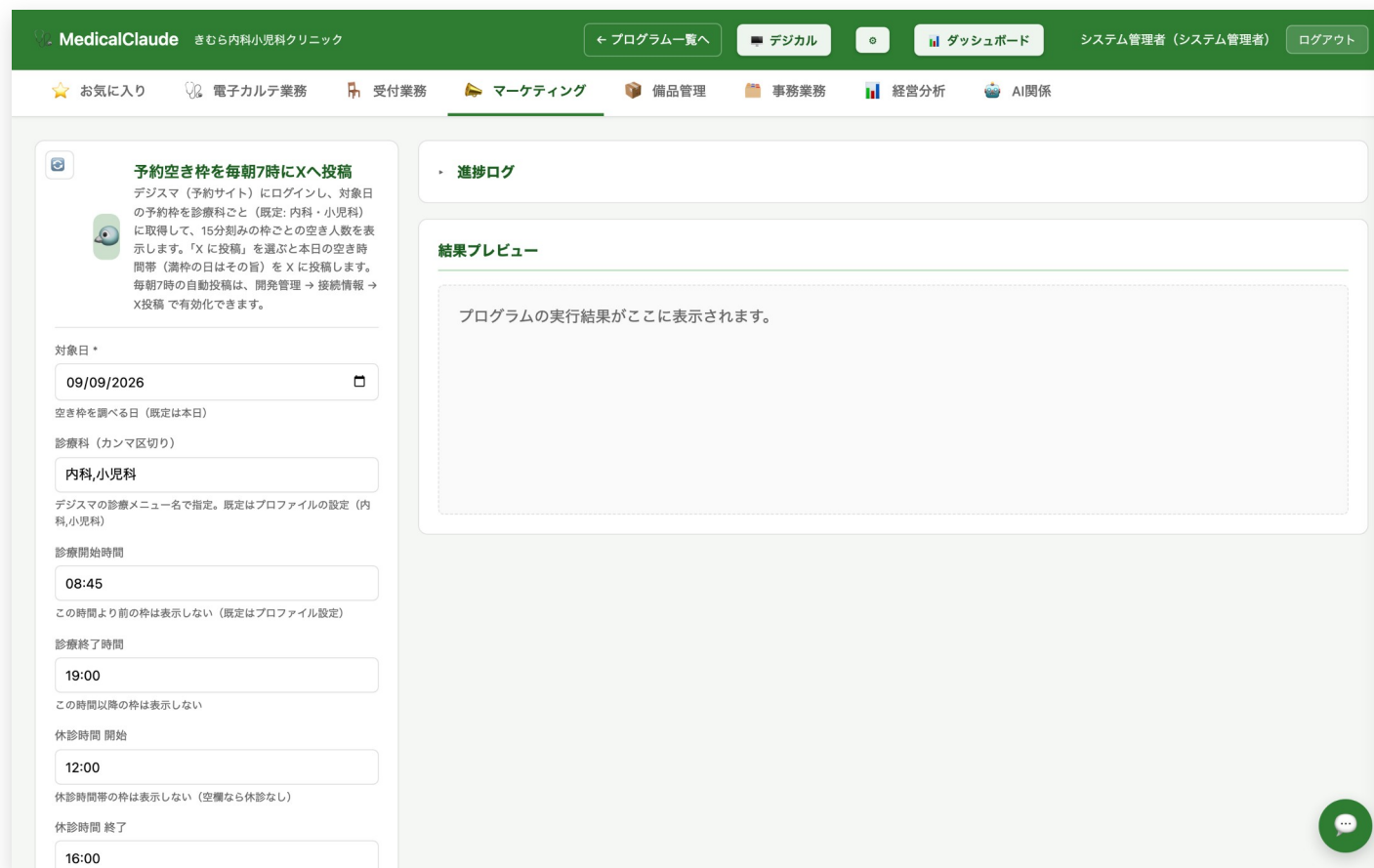
対象日 / 診療科（既定: 内科・小児科） / 診療時間・休診時間・1枠の定員（既定はプロフィール設定） / Xに投稿するか

成果物

空き状況レポート（HTML） + 投稿文。投稿した場合はXの投稿IDも記録します。

ポイント

毎朝7時の自動投稿は 開発管理 → 接続情報 → X投稿 で有効化します。予約システムの端末承認とXのAPIキーの設定が必要です。



The screenshot shows the MedicalClaude web application interface. The header is green with the logo and navigation links. The main content area is divided into two columns. The left column contains a form for posting reservation availability to X. The right column contains a progress log and a result preview section.

MedicalClaude きむら内科小児科クリニック

← プログラム一覧へ デジタル 0 ダッシュボード システム管理者 (システム管理者) ログアウト

★ お気に入り 🗨️ 電子カルテ業務 🏠 受付業務 📁 マーケティング 📦 備品管理 📁 事務業務 📊 経営分析 🤖 AI関係

予約空き枠を毎朝7時にXへ投稿

デジスマ（予約サイト）にログインし、対象日の予約枠を診療科ごと（既定: 内科・小児科）に取得して、15分刻みの枠ごとの空き人数を表示します。「Xに投稿」を選ぶと本日の空き時間帯（満枠の日はその旨）をXに投稿します。毎朝7時の自動投稿は、開発管理 → 接続情報 → X投稿 で有効化できます。

対象日 *

09/09/2026

空き枠を調べる日（既定は本日）

診療科（カンマ区切り）

内科,小児科

デジスマの診療メニュー名で指定。既定はプロフィールの設定（内科,小児科）

診療開始時間

08:45

この時間より前の枠は表示しない（既定はプロフィール設定）

診療終了時間

19:00

この時間以降の枠は表示しない

休診時間 開始

12:00

休診時間帯の枠は表示しない（空欄なら休診なし）

休診時間 終了

16:00

進捗ログ

結果プレビュー

プログラムの実行結果がここに表示されます。

成果物サンプル 予約空き枠レポート

予約空き枠 2026/9/9(水) — サンプル内科クリニック

対象診療科: 内科・小児科 表示時間: 08:45~19:00 休診: 12:00~16:00 取得: 2026-09-09 15:40

サマリー

- 内科: 空き枠 10 / 14 (残り 24 名分)
- 小児科: 空き枠 14 / 14 (残り 32 名分)

投稿文

サンプル内科クリニック
【9/9(水) 本日の予約空き状況】
▶内科: 09:15~09:30、09:45~10:15、10:30~11:15、16:00~16:30、17:00~17:30 (残り24名)
▶小児科: 09:00~11:15、16:00~16:45、17:00~17:30 (残り32名)
ご予約はデジスマ予約ページからどうぞ。

 X に投稿しました (ID: 0000)

枠ごとの状況

時間	予約数	定員	空き	状態
内科				
09:00~09:15	3	3	0	満枠
09:15~09:30	2	3	1	空き 1 名
09:30~09:45	3	3	0	満枠
09:45~10:00	0	3	3	空き 3 名
10:00~10:15	1	3	2	空き 2 名
10:15~10:30	3	3	0	満枠
10:30~10:45	0	3	3	空き 3 名

 空き枠レポート (HTML) — 診療科別サマリー・X 投稿文・枠ごとの予約数と空き

※ ダミーデータ／サンプルによる生成例です。実際の成果物は実行後の「結果プレビュー」からダウンロードできます。

実行履歴（3ヶ月保持）

保存期間

各プログラムの実行結果は 3 ヶ月間保存されます（期限を過ぎたものは自動削除）。

結果の見分け方

✅ 成功 / ❌ 失敗 / ⌚ 実行中 のバッジと実行時間が一目でわかります。チップで絞り込みも可能。

再表示

行をクリックすると、当時の進捗ログと結果（レポートへのリンク）を再表示できます。実行したユーザーも記録されます。

削除

行の × ボタンで個別に削除できます。

The screenshot displays the MedicalClaude web application interface. At the top, a green header bar contains the logo and navigation links. Below the header, a horizontal menu lists various business functions. The main content area is divided into two columns. The left column features a '診療準備レポート' (Medical Preparation Report) section with a description, a date selector set to '07/21/2026', a status dropdown set to '全部', and a 'レポートを生成' (Generate Report) button. The right column shows a '進捗ログ' (Progress Log) section with a '結果プレビュー' (Result Preview) area. At the bottom, a '実行履歴 (3ヶ月保持)' (Execution History (3-month retention)) section includes filters for '全て' (All), '成功' (Success), '失敗' (Failure), and '実行中' (In Progress), along with a '更新' (Refresh) button. A chat icon is visible in the bottom right corner.

利用状況ダッシュボード（システム管理者専用）

機能

システムの利用状況を日次で分析します。実行回数・成功率・ユーザー別/プログラム別/時間帯別の内訳・失敗ジョブ・チャット利用を 1 画面で確認できます。

開き方

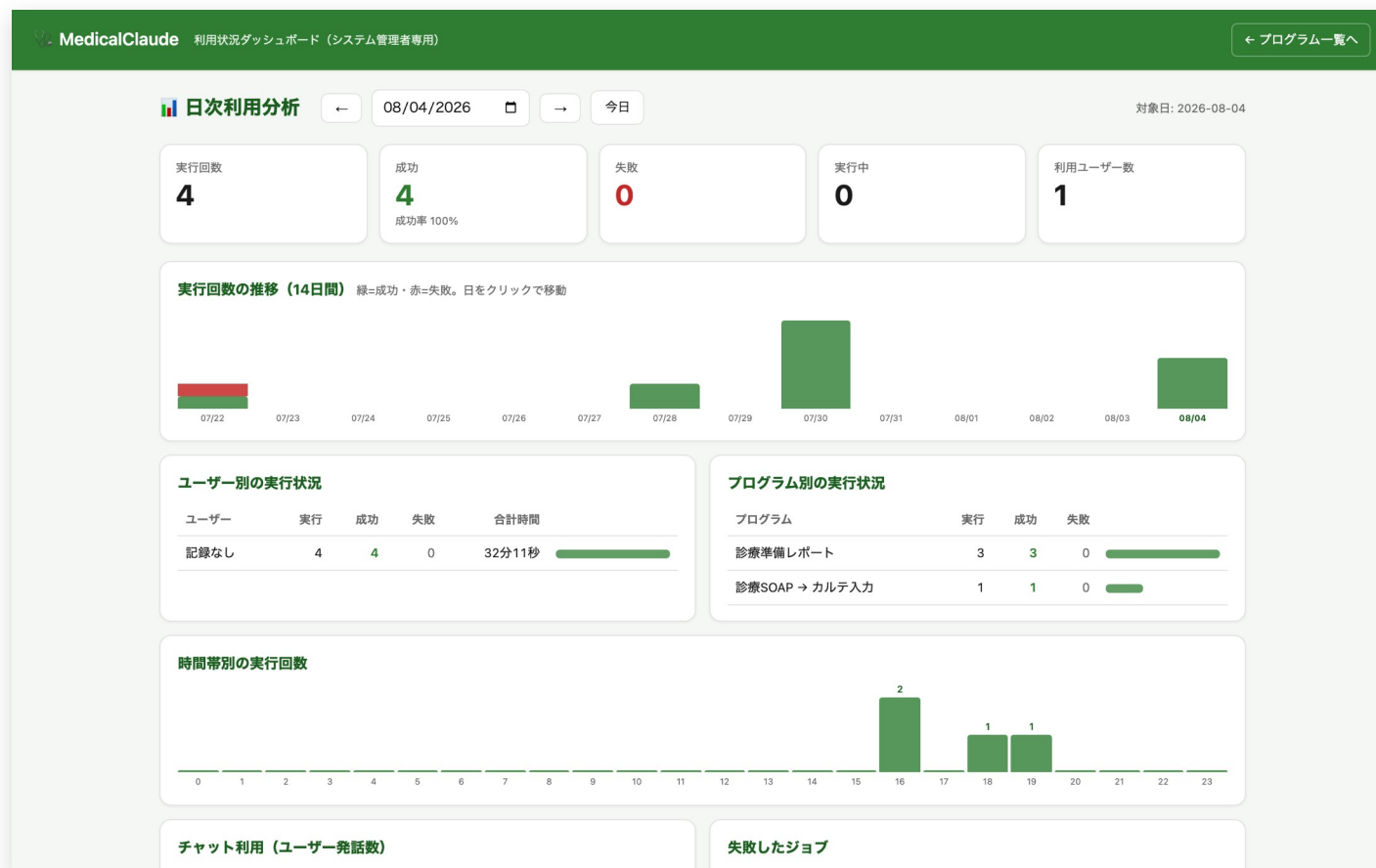
ヘッダーの「 ダッシュボード」ボタン（システム管理者でログインした場合のみ表示）。日付の切替・前日/翌日移動が可能。

できること

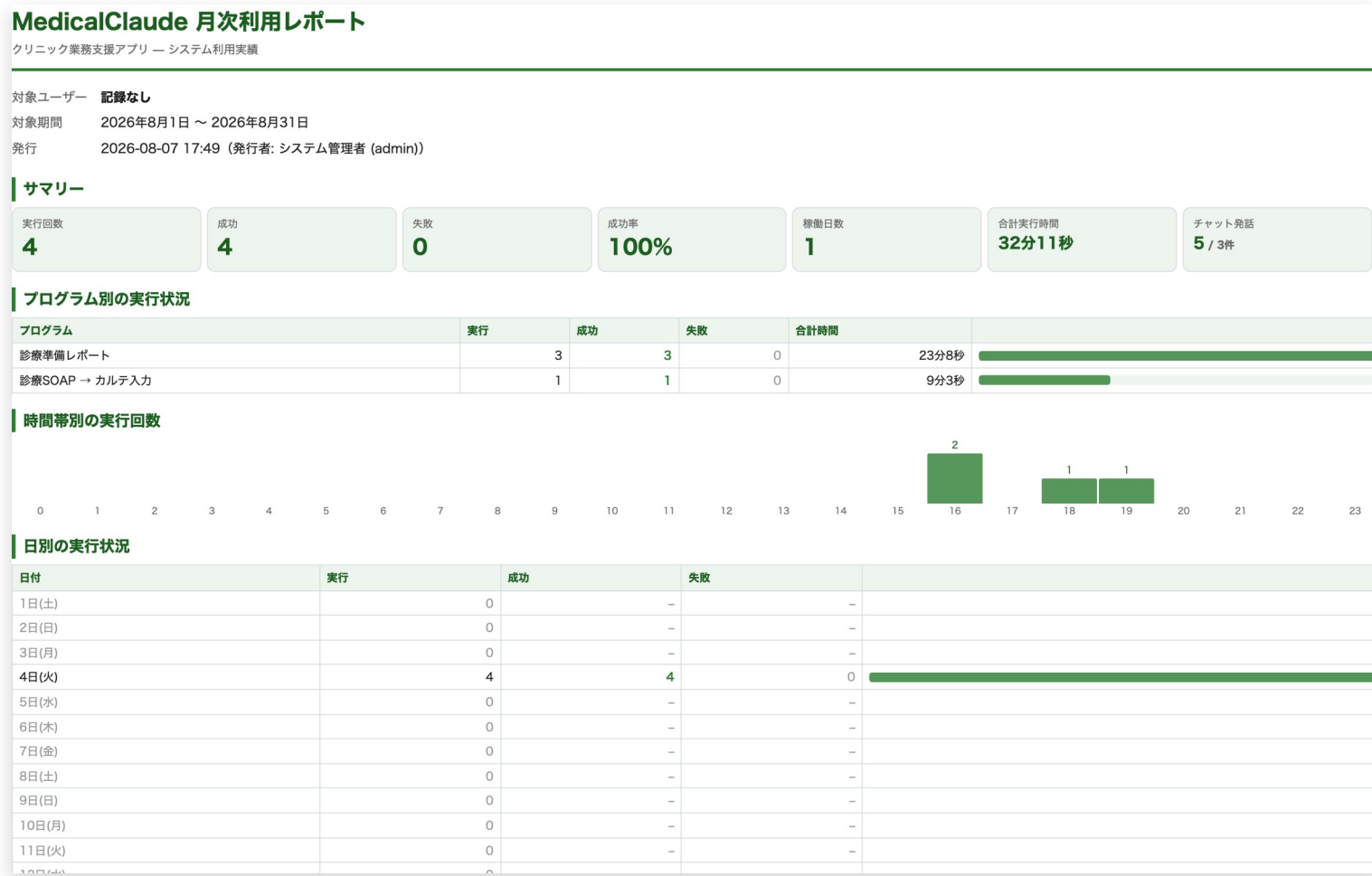
14日間の推移表示 / ユーザー行をクリックしてジョブ一覧
ヘドリルダウン / 月次利用レポートの作成（次ページ） /
ユーザー管理（次々ページ）

ポイント

すべての実行はユーザーIDごとに記録されます。閲覧できるのは「システム管理者」グループのみです（院長=管理者は対象外）。



成果物サンプル 月次利用レポート



 月次利用レポート（HTML/PDF） — ユーザー×月の実行実績・日別/プログラム別/時間帯別・失敗一覧

※ ダッシュボード下部の「月次利用レポート」からユーザーと月を選んで作成します。作成できるのはシステム管理者のみです。

👤 ユーザー管理（システム管理者専用）

機能

職員のアカウント（ユーザー ID・名前・権限グループ・役職・職種・メールアドレス）を、システム管理者が画面から追加・変更・削除できます。

開き方

ヘッダーの「🏠 ダッシュボード」→ 画面下部の「👤 ユーザー管理」。

できること

追加 / 名前・役職などの変更 / パスワードの再設定 / ログインの無効化・削除。権限グループは システム管理者・管理者・一般 の 3 段階。

ポイント

パスワードを変更したユーザーは即時にログインし直しになります。自分自身の削除・権限の引き下げはできません。システム開発者アカウントは対象外です。

ユーザー管理

ユーザーID	名前	権限グループ	役職	職種	メールアドレス	状態
...	...	システム管理者	システム管理者			有効 編集 削除
...	...	システム管理者	システム管理者			有効 編集
...	...	管理者	院長			有効 編集 削除
...	...	一般	事務			有効 編集 削除
...	...	一般	看護師			有効 編集 削除
...	...	一般	小児科医			有効 編集 削除

このクリニックの職員アカウントを管理します。システム開発者アカウントは対象外です。
パスワードを変更すると、そのユーザーはログインし直しになります。

ユーザーの追加

ユーザーID (ログインID) 名前 権限グループ

役職 職種 メールアドレス

パスワード (8文字以上) 備考 ログイン ☒ 有効

AI オペレータ（チャット）

開き方

画面右下の  ボタン。右側にパネルがスライドして開きます。

2つのモード

 エージェント＝「明日の診療準備して」のような自然な言葉で業務フローを実行。 チャット＝RAG 化したノートブックを参照して回答。

不足情報はフォームで確認

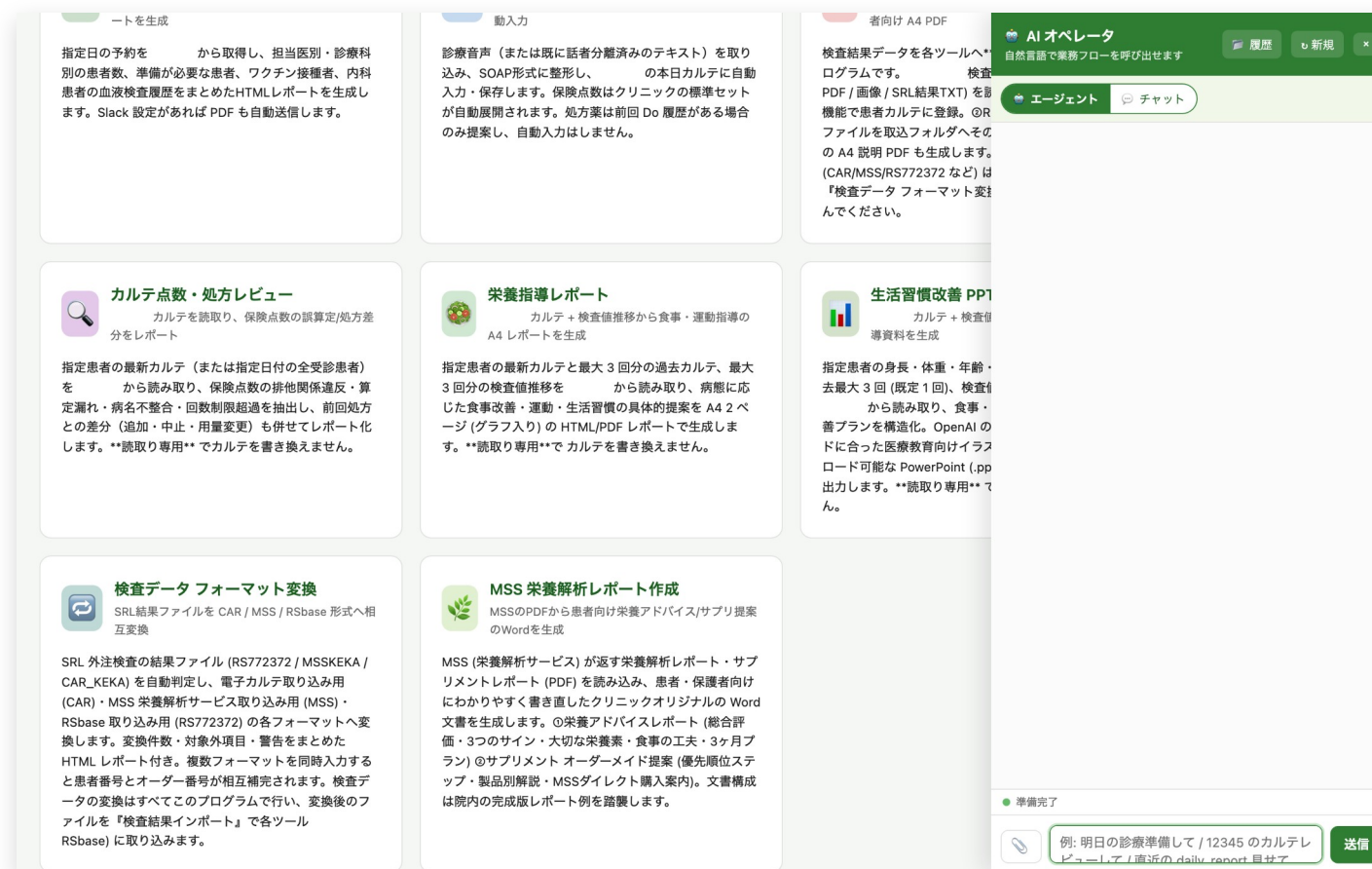
日付・患者番号・ファイルが不足していると、チャット内に入力フォームが表示されます。推測での実行はしません。

リアルタイムコーディング

登録機能に無い依頼（集計・ファイル加工など）は、その場でコードを書いて処理し、結果をダウンロードリンクで返します。

操作

実行前に確認ダイアログ／実行中は「停止」  履歴で過去の会話を再開できます。



画面はAIオペレータの操作インターフェースを示しています。左側には機能メニューがあり、右側にはチャットインターフェースと履歴表示があります。

機能メニュー:

- レポート生成:** 指定日の予約を から取得し、担当医別・診療科別の患者数、準備が必要な患者、ワクチン接種者、内科患者の血液検査履歴をまとめたHTMLレポートを生成します。Slack 設定があれば PDF も自動送信します。
- カルテ点数・処方レビュー:** カルテを読み取り、保険点数の誤算定/処方差をレポート。指定患者の最新カルテ（または指定日付の全受診患者）を から読み取り、保険点数の排他関係違反・算定漏れ・病名不整合・回数制限超過を抽出し、前回処方との差分（追加・中止・用量変更）も併せてレポート化します。**読取り専用** でカルテを書き換えません。
- 検査データフォーマット変換:** SRL結果ファイルを CAR / MSS / RSbase 形式へ相互変換。SRL 外注検査の結果ファイル (RS772372 / MSSKEKA / CAR_KEKA) を自動判別し、電子カルテ取り込み用 (CAR)・MSS 栄養解析サービス取り込み用 (MSS)・RSbase 取り込み用 (RS772372) の各フォーマットへ変換します。変換件数・対象外項目・警告をまとめた HTML レポート付き。複数フォーマットを同時入力すると患者番号とオーダー番号が相互補完されます。検査データの変換はすべてこのプログラムで行い、変換後のファイルを『検査結果インポート』で各ツール (RSbase) に取り込みます。
- 動入力:** 診療音声（または既に話者分離済みのテキスト）を取り込み、SOAP形式に整形し、 の本日カルテに自動入力・保存します。保険点数はクリニックの標準セットが自動展開されます。処方箋は前回 Do 履歴がある場合のみ提案し、自動入力はしません。
- 栄養指導レポート:** カルテ + 検査値推移から食事・運動指導の A4 レポートを生成。指定患者の最新カルテと最大 3 回分の過去カルテ、最大 3 回分の検査値推移を から読み取り、病態に応じた食事改善・運動・生活習慣の具体的提案を A4 2 ページ (グラフ入り) の HTML/PDF レポートで生成します。**読取り専用** で カルテを書き換えません。
- MSS 栄養解析レポート作成:** MSS のPDFから患者向け栄養アドバイス/サブ提案のWordを生成。MSS (栄養解析サービス) が返す栄養解析レポート・サプリメントレポート (PDF) を読み込み、患者・保護者向けにわかりやすく書き直したクリニックオリジナルの Word 文書を作成します。①栄養アドバイスレポート (総合評価・3つのサイン・大切な栄養素・食事の工夫・3ヶ月プラン) ②サプリメント オーダーメイド提案 (優先順位ステッ プ・製品別解説・MSSダイレクト購入案内)。文書構成は院内の完成版レポート例を踏襲します。
- 生活習慣改善 PPT:** カルテ + 検査値 導資料を生成。指定患者の身長・体重・年齢・去最大 3 回 (既定 1 回)、検査値 から読み取り、食事・善プランを構造化。OpenAI のドに合った医療教育向けイラスト可能な PowerPoint (.pptx) 出力します。**読取り専用** で

右側パネル:

- AI オペレータ** (履歴、新規)
- エージェント** (チャット)
- チャット入力欄: 例: 明日の診療準備して / 12345 のカルテレビュー / 直近の daily report 見せて
- 送信ボタン

セキュリティとデータ保護

ローカル完結の運用

アプリは院内 PC 上（localhost）で動作し、外部にサーバーを公開しません。実行履歴や成果物ファイルも院内に保存されます。

ログイン認証

ユーザー ID とパスワードで保護（パスワードはハッシュ化して保存）。実行はユーザーごとに記録され、システム管理者がダッシュボードで監査できます。共有 PC ではログアウトを徹底。

患者氏名の保護

電子カルテのスクリーンショットは患者氏名を自動で黒塗り。AI への指示・応答は患者番号ベースで、氏名を含めない設計です。

電子カルテ接続の保護

電子カルテへは安全な認証の仕組みで接続。処理が終わるとブラウザを自動終了し、開きっぱなしを防ぎます。

データの自動削除

実行履歴・操作ログは 3 ヶ月で自動削除。不要になった成果物や履歴は、履歴一覧の × ボタンから個別に削除できます。

AI の権限制限

カルテへの書込系は実行前に内容を確認。チャットの即時コーディングは専用ワークスペース内のみ書込可能で、アプリ本体・DB・設定には触れません。

参考：このアプリを通常の受託開発で構築した場合の想定

工程・機能	想定工数
要件定義・基本設計	3～4 人月
Web 基盤（認証・実行履歴・並列実行制御）	3～4 人月
電子カルテ連携の画面自動操作（入力・読取）	4～6 人月
音声文字起こし・SOAP 生成（AI 連携）	2～3 人月
検査データ 3 フォーマット解析・変換・取込	3～4 人月
文書自動生成（PDF・Word・PPT・画像生成）	3～4 人月
AI チャットオペレータ+即時コーディング	4～6 人月
テスト・受入・マニュアル整備	3～4 人月
合計	25～35 人月

 **想定費用 約 2,300万 ～ 4,200万円**

25～35 人月 × 人月単価 90～120万円

 **想定期間 6 ～ 10 ヶ月**

要件定義～リリースまで（PM・設計・開発 2～3 名・テストの体制）

 **保守・機能追加 月額保守 + 都度見積もり**

仕様変更は契約変更扱いになりやすく、反映まで数週間～数ヶ月

 **本アプリ（AI 開発）の実際**

Claude のサブスクリプション+API 利用料のみ。院長自身の指示で数週間で稼働開始し、機能追加は対話ベースで即日～数日で反映。

運用上の注意

サーバー

アプリは院内 PC の `http://localhost:8001` で動作します。開けない場合はサーバー（uvicorn）の起動が必要です。

書込系プログラム

「診療SOAP」「検査結果インポート」「紹介状作成（電子カルテに保存）」は電子カルテへ書き込みます。実行前に患者番号・内容を必ず確認してください。

RSbase 取込フォルダ

RSbase が監視するフォルダは `.env` の `RSBASE_IMPORT_DIR` で設定します（フォームでの一時上書きも可能）。

個人情報の保護

患者氏名は AI へ送信されず、電子カルテのスクリーンショットでは氏名が自動で黒塗りされます。生成したレポート類の取り扱いは院内規定に従ってください。

困ったときは

実行履歴の「進捗ログ」にエラー原因が表示されます。電子カルテへの接続エラーやログイン失敗は、ブラウザでの電子カルテのログイン状態を確認してください。